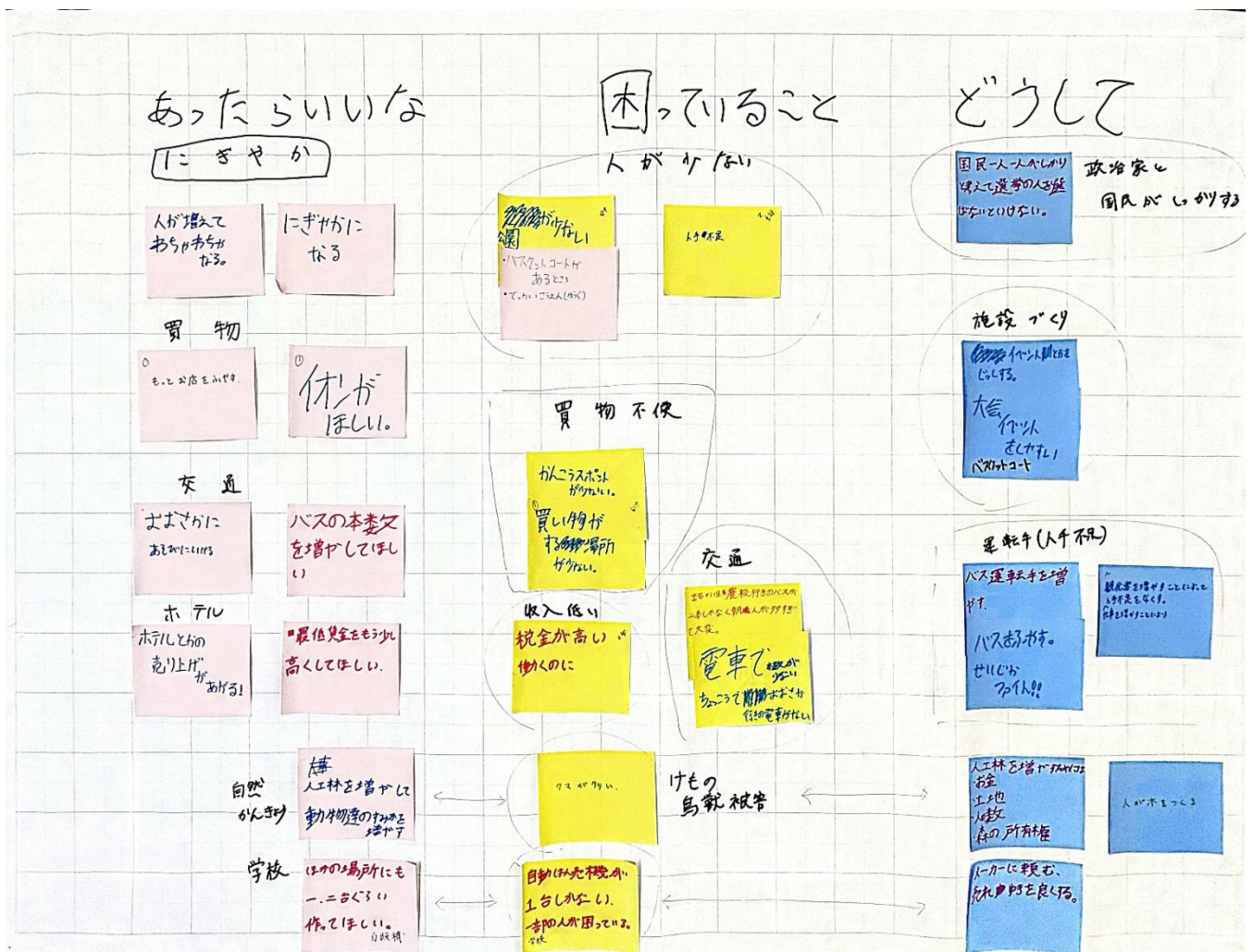


高校生との意見交換会 報告書

学 校 名	兵庫県立但馬農業高等学校		
年 月 日	令和8年7月7日	会 場 名	兵庫県立但馬農業高等学校 2階 会議室
開始時間	13時30分	終了時間	15時00分
参加数	生徒 14人	議員 6人	合計 20人
班 長	西垣 司	報 告 者	石本 毅、井戸弘美、淨慶耕造、西垣 司
班 員 名	(グループ1) ○石本 毅、西垣 司 (グループ2) ○井戸弘美、塚本正彦 (グループ3) ○淨慶耕造、谷垣 満 (○印…進行役)		
テ ー マ	高校生の「あったらいいな」をかなえるまち ～学校・地域で今困っていることを一緒に解決しましょう～		

グループ1



【出された意見・アイデア】

(あったらいいな)

- ・人が増えてわちゃわちやなる ・にぎやかになる
- ・もっとお店をふやす ・イオンがほしい
- ・大阪に遊びに行ける ・バスの本数を増やしてほしい
- ・ホテルとかの売り上げがあがる! ・最低賃金をもう少し高くしてほしい
- ・人工林を増やして動物被害の住みかを増やす
- ・校内のほかの場所にも自販機を1、2台くらい作ってほしい

（困っていること）

- ・公園が少ない ・人手不足 ・バスケットコートがあるところ ・でっかい公園（遊具）
- ・観光スポットが少ない ・買い物する場所が少ない
- ・税金が高い、働くのに
- ・出石から但馬農高行きのバスが2本しかなく、朝人が多すぎて大変 ・電車で直行で大阪行きの電車がな
い（本数が少ない）
- ・クマが多い
- ・校内の自動販売機が1台しかない。一部の人が困っている

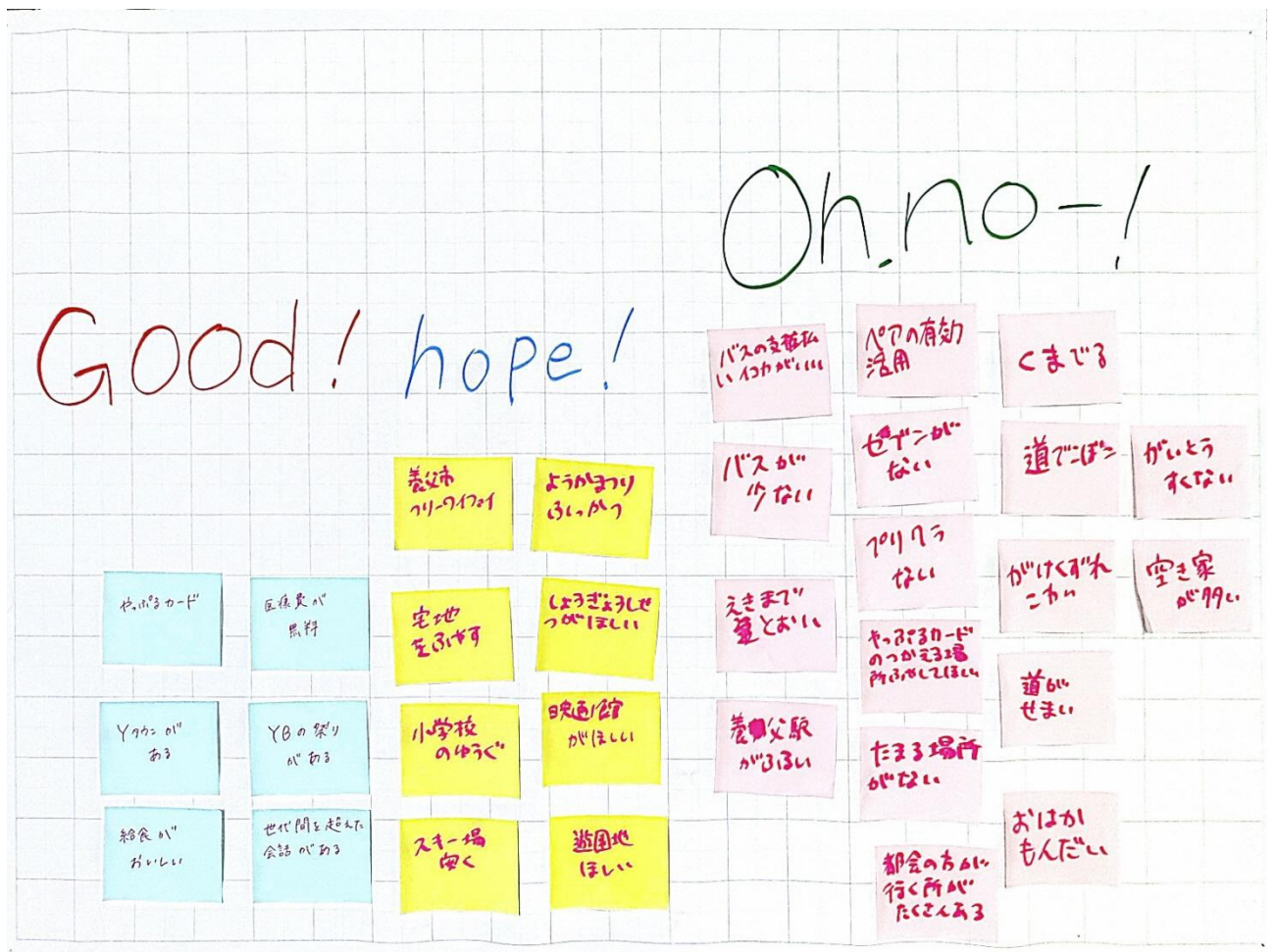
（どうして）

- ・国民一人一人しっかり考えて選挙の人を選ばないといけない
- ・イベントとかを実施する、大会イベントをしやすいバスケットコートの整備
- ・バス運転手を増やす、バスをふやす、政治家ファイト!! ・観光客を増やすことによって仕事を増やすこ
とにより人手不足をなくす
- ・人工林を増やすためにはお金、土地、人数、森の所有権 ・人が木をつくる
- ・（自販機）メーカーに頼む、売れ行きを良くする

【グループ1 まとめ】

今回の意見交換では、「あったらいいな」という希望だけでなく、今困っていることと、なぜ実現できていないのかまで考えようとした。「人が増えてにぎやかになる」「店やイオン、公園、バスケットコート、自販機を増やす」「大阪へ遊びに行きやすくする」「バスの本数を増やす」などの希望が出された。困っていることとして、公園や買物場所、観光スポットの少なさ、人手不足、熊の出没、学校の自販機不足、出石から但馬農高へのバスが少なく混雑すること、大阪への直通電車がないうことなどが挙げられた。これらへの対応として、バス運転手やバスを増やすこと、イベントや大会を開きやすいバスケットコートをつくること、観光客と仕事を増やすこと、自販機メーカーに依頼、売り上げ増をする、鳥獣のすみかを作ることなどの意見が出された。また、政治家と国民がしっかりすべきとの発言もあった。

グループ2



【出された意見・アイデア】

(Good!)

- ・やっふるカード
- ・医療費が無料
- ・Yタウンがある
- ・YBの祭りがある
- ・給食がおいしい
- ・世代間を超えた会話がある

(hope!)

- ・養父市フリーワイファイ
- ・ようかまつり復活
- ・宅地をふやす
- ・商業施設がほしい
- ・小学校の遊具
- ・映画館がほしい
- ・スキー場安く
- ・遊園地ほしい

(Oh, no-!)

- ・バスの支払ICOCAがいい
- ・ペアの有効活用
- ・クマ出る
- ・バスが少ない
- ・セブンイレブンがない
- ・道でこぼこ
- ・街灯少ない
- ・プリクラがない
- ・駅まで遠い
- ・やっふるカードの使える場所増やしてほしい
- ・養父駅が古い
- ・たまる場所がない
- ・都会の方が行く所がたくさんある
- ・崖崩れ怖い
- ・空き家が多い
- ・道がせまい
- ・お墓問題

【グループ2まとめ】

今回寄せられた意見からは、養父市の魅力と課題、そして未来への期待が率直に表現されていました。(豊岡市の子たちも2名参加してくれていて、その子たちは、なかなか、言いづらそうでしたが、豊岡市の方が、遊べる場所は沢山あると言っていました。)

まず、「良いところ」としては、やっふるカードや医療費の無料化、Yタウンの存在、お祭りや学校給食のおいしさ(給食甲子園で優勝した)など、暮らしやすさや子育て支援に関する意見が多く挙げられました。また、「世代間を超えた会話がある」という意見からは、地域の人と人とのつながりや温かさが、養父市ならではの大きな魅力として受け止められていることがうかがえます。

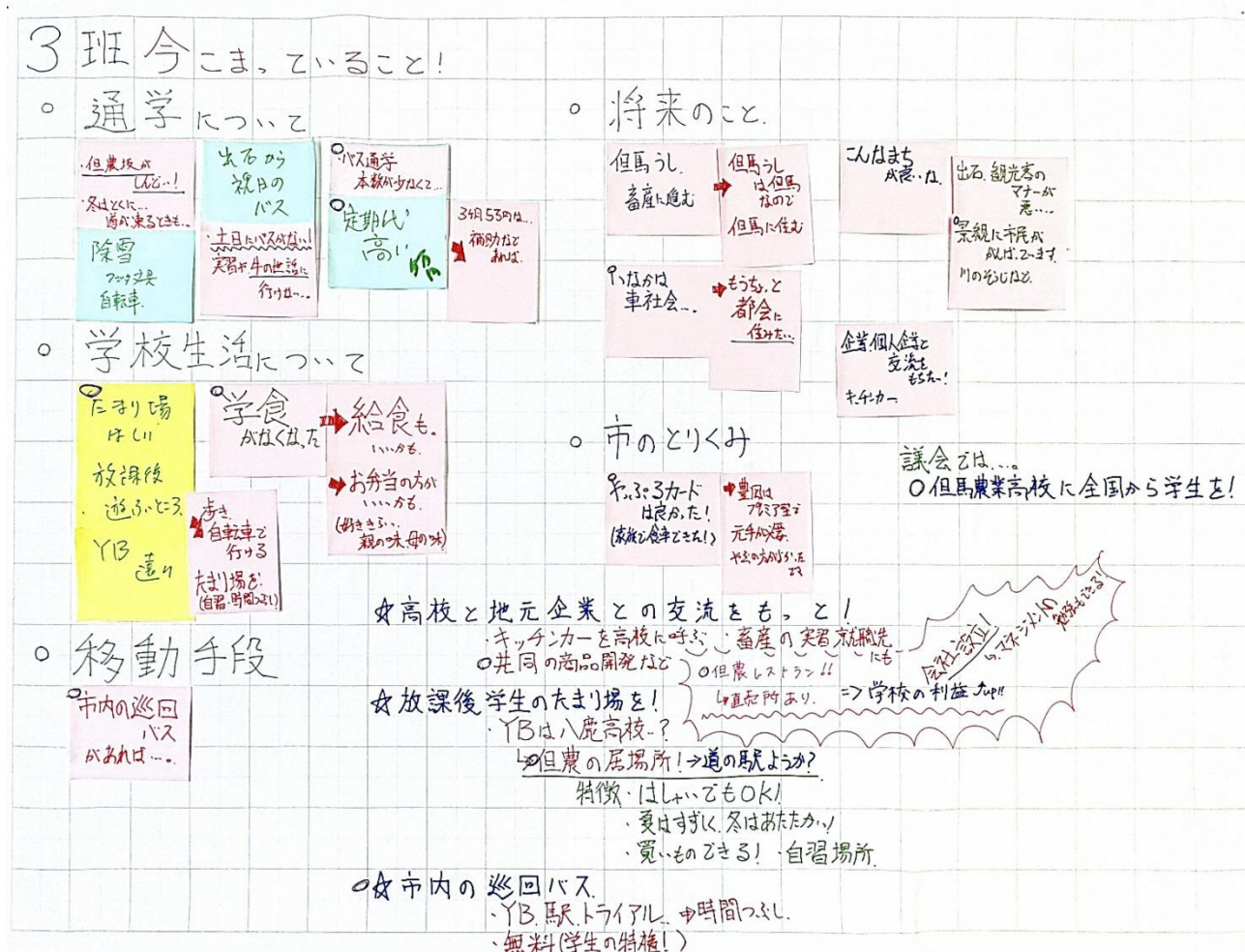
一方で、「こうなったらいいな」という期待としては、市内で利用できるフリーWi-Fiの整備や、八鹿

祭りの復活、宅地の整備、商業施設や映画館、遊園地など、暮らしをより便利で楽しくするための施設や環境を望む声が多くありました。また、小学校の遊具の充実やスキー場の利用しやすさなど、子どもたちや若い世代の視点からの要望も見られました。

さらに、「困っていること」としては、バスの本数が少ないことやＩＣカード決済への対応、駅までの距離、街灯の少なさ、道路の狭さや傷みなど、日常生活や交通に関する課題が多く挙げられました。そのほか、クマの出没や崖崩れへの不安、空き家の増加、お墓の問題など、安全・安心や地域の将来に関わる課題も指摘されています。また、「都会の方が行く場所がたくさんある」「集まれる場所がない」「セブンイレブンやプリクラがない」といった意見からは、若い世代が楽しめる場所や交流できる場を求める気持ちも伝わってきました。

これらの意見は、養父市への不満だけではなく、「もっと住みやすく、もっと魅力あるまちになってほしい」という前向きな願いの表れでもあります。養父市の豊かな自然や人とのつながり、充実した子育て支援といった強みを大切にしながら、市民、特に子どもや若い世代が夢や希望を持ち、将来も住み続けたいと思えるまちづくりを進めていくことが重要であると感じました。一つひとつの声を大切に受け止め、今後のまちづくりに生かしていくことが求められます。

グループ3



【出された意見・アイデア】

(通学について)

- ・但農坂がしんどい!、冬はとくに...、道が凍るときも... ・除雪、フジタ文具、自転車
- ・出石から祝日のバス ・土日にバスない!、実習や牛のお世話に行けない...
- ・バス通学、本数が少なくて... ・定期代が高い ・3年間5万円は...補助金などあれば

(学校生活について)

- ・たまり場ほしい、放課後遊ぶところ ・歩き、自転車で行けるたまり場を(自習、時間つぶし)

- ・ Y B 遠い
- ・ 学食がなくなった
- ・ 給食もいいのかも
- ・ お弁当の方がいいかも（好ききらい、親の味、母の味）

（移動手段）

- ・ 市内の巡回バスがあれば…

（将来のこと）

- ・ 但馬牛、畜産に進む
- ・ 但馬牛は有名なので但馬に住む
- ・ こんなまちが良いな
- ・ 出石、観光客のマナーが悪い…
- ・ 景観に市民が頑張っています、川のそうじなど
- ・ いなかは車社会…
- ・ もうちょっと都会に住みたい…
- ・ 企業、個人企業を交流を持ちたい！、キッチンカー

（市のとりくみ）

- ・ やっぷるカードは良かった！（家族で食事できた！）
- ・ 豊岡はプレミアム型で元手が必要、養父の方がよかったです

（議会では…）

- ・ 但馬農業高校に全国から学生を！

（高校と地元企業との交流をもっと！）

- ・ キッチンカーを高校によぶ
- ・ 畜産の実習就職先にも
- ・ 共同の商品開発など
- ・ 但農レストラン!!直売所あり⇒学校の利益アップ!!会社設立！マネジメントの勉強もできる！

（放課後 学生のたまり場を！）

- ・ Y B は八鹿高校？但農の居場所！→道の駅ようか？
- ・ 特徴：はしゃいでも OK！夏は涼しく、冬はあたたかい！買い物もできる！自習場所

（市内の巡回バス）

- ・ Y B、駅、トライアル→時間つぶし
- ・ 無料（学生の特権！）

【グループ 3 まとめ】

農業（畜産）へと進路を定めた 3 年生が頼もしい。但農坂、バス便の少なさ、乗り換えの不便。通学の「苦しさ」に耐えた自分は褒めてやりたいが、送迎依頼や定期代の高さに、親に「申し訳ない」と心情を吐露した。だから「やっぷるカード」はうれしかった。生き物の世話のために休日の登校も求められる但農生に、通学の利便性や時間待ちを過ごす居場所が与えられてもそれを贅沢と考える者はいない。但農祭、但農給食、但農鶏や様々な商品開発を通じて、但馬農高は地域社会とのつながりを求め続けている。地域はどう応えるべきか。彼（彼女）らは主張する。「ともに商品開発を」「但農レストランづくりを応援して」「起業を教えて」「養父市の企業をもっと知りたい」。若さと情熱。養父市の財産がここにはしっかりと根付いていると感じ取ることができた。

ま と め

但馬農業高等学校との意見交換のテーマは「あったらいいな」をかなえるまち、～学校・地域で困っていることを一緒に解決しましょう～をテーマに 3 班に分かれワークショップ形式で行った。

各班テーマとは少し離れはしたが、現実的な意見を得ることができたと考えられる。

但馬農業高等学校の生徒は但馬全域から通学していることから、通学及び日常生活における公共交通等のインフラに不便さを抱えているのがうかがわれる。

市外からの生徒もいることから、養父市との政策比較がなされ、養父市の良さとして医療費の無料化、暮らしやすさとして子育て支援に関すること等、良く理解していただいている。

都市部と比べ、若年層の休日の過ごし方について、公園等の施設やショッピングに関しての利便性に欠けていることが挙げられる。

市内の特産物及び新たな地域産業の必要性も認識しており、畜産農家の継承、農産物の開発、自営等市

	内の農林業や観光業、自然環境の状況も良く理解しており、今後も継続的に研鑽していただきたい。
--	---

高校生との意見交換会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和8年8月27日

報告者 班長 西垣 司